16 結核

結核菌という細菌による慢性の感染症です。結核菌は肺や肺以外にも病変を作り、重症例では呼吸が困難になったり、他の臓器の機能が冒されるおそれがあります。

よく現れる症状

- 寝汗をかく
- 体重が減る
- 体がだるい
- 微熱
- 咳が続く
- 痰

17 膵炎

膵臓に炎症が起きる病気です。下記の症状が現れることがあります。

よく現れる症状

- 腹痛
- 背中の痛み
- 吐き気や嘔吐がある

18 重度の胃炎

胃の粘膜に炎症が起きる病気です。また、炎症が重症化すると、胃粘膜の充血や出血を認め、血を吐いたり、黒い便が出たりすることもあります。

よく現れる症状

- 胃の不快感や痛みがある
- 食欲不振
- 吐き気や嘔吐がある
- 吐血
- 便が黒い

19 ぶどう膜炎

眼の中に炎症を起こす病気です。ぶどう膜炎の原因疾患の一つであるフォークト・小柳・原田病では、下記の症状の他、頭痛、耳鳴り、めまい、聴力の低下、発熱、吐き気、意識の低下、髪が白くなる、皮膚に白い斑点ができる、脱毛などの全身症状が現れます。

よく現れる症状

- 眼の充血
- まぶしく感じる
- 眼痛
- 視力の低下
- かすみがかかったように見える
- 虫が飛んでいるように見える

その他の注意を要する副作用

心臓障害	めまい、動悸、脈拍の異常、意識の低下などの症状が現れます。

ご注意

オプジーボは治療中に副作用を引き起こす可能性がありますが、オプジーボによる**治療終了後に副作用が現れることもあります**。これらの症状に気付いたら、ご自身で対処せず、すぐに主治医もしくは看護師、薬剤師にご相談ください。

⚠ これらの症状が現れたら、すぐに医師、看護師、薬剤師に知らせてください。

2023年3月作成
OPD-F10047D
OP/2023/A03

RMP
#:一部RMP対象外
##:RMP対象外

オプジーボによる治療を受ける方へ

オプジーボとは

オプジーボは、「免疫機能へのブレーキ」を解除することで、がん細胞を攻撃するT細胞の働きを維持するお薬です。オプジーボによる治療は、悪性黒色腫、非小細胞肺癌#、腎細胞癌、古典的ホジキンリンパ腫、頭頸部癌、胃癌、悪性胸膜中皮腫、高頻度マイクロサテライト不安定性を有する結腸・直腸癌、食道癌#、原発不明癌及び尿路上皮癌##のうち一部の患者さんが対象となりますが、本剤の使用にあたっては主治医の先生にご確認ください。

投与方法

オプジーボは、静脈から30分以上かけて点滴注射で投与します。

治療スケジュール

オプジーボは、一定間隔での投与となります。
投与間隔は、癌腫や併用する薬剤によって異なりますので、主治医の先生にご確認ください。

小野薬品工業株式会社　ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

特に注意を要する副作用

1 間質性肺疾患

空気を取り込む肺胞という器官が炎症を起こす病気です。炎症が進むと、肺胞が硬くなって空気を十分に取り込むことができなくなり、命に危険が及ぶおそれがあります。間質性肺疾患の初期には、酸素をうまく取り込めなくなり、息切れがしたり、息苦しいなど下記の症状が現れることもあります。

よく現れる症状

- 息切れ、息苦しい
- 発熱
- 痰のない乾いた咳（空咳）
- 疲労
- など

2 重症筋無力症、心筋炎、筋炎、横紋筋融解症

神経から筋肉への情報の伝達がうまくいかなくなったり、筋肉（心筋を含む）の炎症や融解による筋肉痛や脱力などを生じる病気です。下記の症状の他、症状が急激に悪化し、息がしにくくなることもあります。

よく現れる症状

- 繰り返し運動で疲れやすい
- 筋肉痛がある
- 足、腕に力が入らない
- 吐き気がする
- まぶたが重い
- 動悸がする
- 胸痛がある
- ものが二重に見える
- 赤褐色の尿が出る

3 大腸炎、小腸炎、重度の下痢

大腸や小腸の炎症、重度の下痢を発症することがあります。また、腸の炎症が重症化すると腸の一部がつまったり、穴があいたりする場合があります。初期症状は、腹痛、嘔吐、下痢、排便回数の増加、血便です。これらの症状に、発熱を伴う場合もあります。

よく現れる症状

- 下痢（軟便）あるいは排便回数が増えた
- 便に血が混じる、便が黒い、便に粘り気がある
- 腹痛あるいは腹部の圧痛（押すなど圧迫した時に現れる痛み）がある
- 吐き気や嘔吐がある

4 1型糖尿病（劇症1型糖尿病を含む）

1型糖尿病を発症することがあり、血糖値検査を行うことがあります。インスリン注射による治療が必要になることがあります。急速に進行する場合があり、吐き気や嘔吐が現れた後、数日で意識障害などが現れることもあります。

よく現れる症状

- からだがだるい
- 体重が減る
- のどの渇き
- 水を多く飲む
- 尿の量が増える
- 吐き気や嘔吐がある
- 意識障害

5 重篤な血液障害

血液の成分が減少して、さまざまな症状を引き起こします。血小板数が減少し出血しやすくなる場合や、赤血球が壊れやすくなり重い貧血となる場合、白血球のうち顆粒球やその中の好中球が減少し重い感染症につながる場合があります。

よく現れる症状

- 鼻血
- 歯ぐきの出血
- 点状や斑状の皮下出血
- 息切れ、息苦しい
- からだがだるい
- 顔色が悪い
- 皮膚や白目が黄色くなる（黄疸）
- かゆみ
- 発熱
- 寒気がする

6 劇症肝炎、肝不全、肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎

血液中の酵素（AST、ALT、ALP、γ-GTP、総ビリルビン値など）の数値が基準値より高くなります。定期的に血液検査を行います。

よく現れる症状

- 皮膚や白目が黄色くなる（黄疸）
- 意識の低下
- いつもより疲れやすい
- 発熱
- 吐き気や嘔吐がある
- 腹痛

7 甲状腺機能障害

新陳代謝を活発にする甲状腺ホルモンなどを分泌する内分泌器官に炎症を起こして、甲状腺中毒症、甲状腺機能低下症などの甲状腺機能障害を発症することがあります。これらの障害では、下記の症状が現れることがあります。定期的に血液検査（TSH、FT3、FT4など）を行います。

よく現れる症状

- いつもより疲れやすい
- 脱毛
- 便秘
- 体重増加あるいは体重減少
- 寒気がする
- 行動の変化がある（性欲が減る、いらいらする、物忘れしやすいなど）

8 下垂体機能障害

さまざまなホルモンの働きをコントロールする脳下垂体が障害されることで、その働きが低下することがあります。定期的に血液検査（TSH、ACTHなど）を行います。

よく現れる症状

- 頭痛
- からだがだるい
- 食欲不振
- 見えにくい

9 神経障害

神経に炎症が起こり、感覚や運動に関わる神経が障害される病気です。手足のしびれや痛みなど下記の症状が現れることもあります。

よく現れる症状

- 運動のまひ
- 手足のしびれ
- 感覚のまひ
- 手足の痛み

10 腎障害

腎臓に炎症が起こる腎炎を発症することがあります。定期的に血液検査（クレアチニンなど）や尿検査の測定を行います。

よく現れる症状

- むくみ
- 発熱
- 血尿
- 貧血
- 尿量が減る、尿が出ない
- からだがだるい
- 食欲不振

11 副腎障害

副腎機能が低下することで血糖値が下がることがあります。急性の場合は意識がうすれるなどの症状が現れることがあります。定期的に血液検査（ACTH、コルチゾールなど）を行います。

よく現れる症状

- からだがだるい
- 意識がうすれる
- 吐き気や嘔吐がある
- 食欲不振
- むかむかする

12 脳炎

脳や脊髄に炎症が起こる病気です。精神障害や意識障害が起こることがあります。

よく現れる症状

- 発熱
- 失神
- 嘔吐
- 精神状態変化
- 体の痛み

13 重度の皮膚障害

皮膚や粘膜など、全身に広がるような重度の皮膚症状が起こることがあります。

よく現れる症状

- からだがだるい
- まぶたや眼の充血
- 発熱
- 粘膜のただれ
- ひどい口内炎
- 全身に赤い斑点や水ぶくれが出る

14 静脈血栓塞栓症

静脈でできた血のかたまりが血流にのって流れて行き、他の場所の血管をふさいでしまう病気です。肺の血管がつまると、呼吸ができなくなることもあります。

よく現れる症状

- 腫れ、むくみ
- 意識の低下、胸の痛み、息苦しい
- 皮膚や唇、手足の爪が青紫色～暗褐色になる

15 血球貪食症候群

血小板・赤血球・白血球などの血液の成分が、異常を起こした免疫細胞に次々と食べられてしまう病気です。初期には下記の症状がみられ、重症例では命に危険が及ぶおそれがあります。

よく現れる症状

- 発熱
- 発疹
- 出血が止まりにくい
- けいれん
- 下痢
- 顔のむくみ

⚠ これらの症状が現れたら、すぐに医師、看護師、薬剤師に知らせてください。